

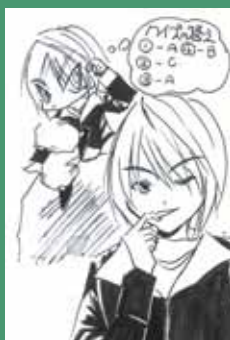
みんなのスペース



中村久乃(8)



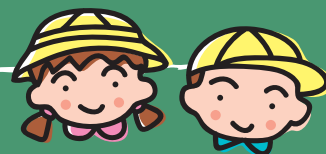
姫神(13)



Wind(?)

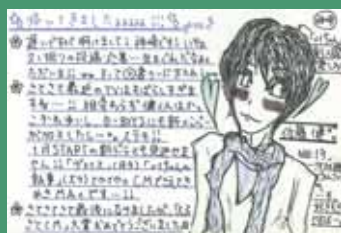


田村彩子(12)



やまうち りゅうせい くん
(豊間根保育園・6)

大きくなったら消防士になりたいです。火を消して困っている人を助けてあげるんだ。



神崎(12)



クレイジーアップル(15)



木下俊(11)



佐々剛(13)

アワビ採りの思い出

何者をも凍てつかせるような厳寒と朝の静寂を破って、「オセロー、ヒケロー」の凜とした声が、どこまでも響き渡ってくる。

小学4、5年生のころ初めて父親に連れられてアワビ採りに行った。艀の漕ぎ方、櫂の使い方など、何も分からないおれにも分かるようにちゃんと教えてくれるのだが、聞くと実際にやるとではまったく別のもの、何もできないまま1日が終わった。その日の漁は13貫(約48^{りん}g)。今になればよく採ったものだと思っているが、アワビもいっぱいいたのだろう。

漁に慣れてくると学校へ行かなくて済むのでいいなと思うようになってきたが、風の悪い日には船酔いになりやっぱり学校のほうがいいなと思った。船の操作も、まねごとながら何とか対応できるようになってきた。

そんな中、舵取りを指示するときの親父の言葉が強く印象に残っている。鈎取りはいつも鏡で海中をのぞきながら舵取りを指示するので、聞き取れなかったり聞き逃したりすることがよくあった。「漕げ漕げ」・「ハナギ(鼻木)に漕げ」…前進「オセロ」…面舵(右側に舵をとる)「ヒケロ」…取り舵(左側に舵をとる)「オセーデ」、「ヒケデ」…オセロ、ヒケロよりもっと強くの意味。

「オセイオセイ」、「ヒケイヒケイ」と繰り返す…前進しながら、オセロ、ヒケロをやる

このほか、櫂による船の「クツケロ」(寄れ)、「ハダゲロ」(間隔を取れ)があるが、なかなか思うようにいかなく、目にあった(苦労した)思いがある。

今はほとんどほかの船からその声を聞くこともなくなった。もう何年かしたらおそろく口に作る人もいなくなり、過去の物語になるのだろうと思うと、寂しさを感じる。

山崎卓三(大浦・?)

思いがけない年末のプレゼント

最近、各学校で古くから伝承されている行事を子供たちに引き継いでいこうとする取り組みが見られる。船越地区でも、昨年末に船越小学校が企画したしめ縄作り教室が地区の公民館で行われた。老人クラブに要請があり、校長先生や40名ほどの児童を前に、会長と私のほか3、4名でしめ縄作りの手ほどきをした。わたらの準備から始め、できたしめ縄にガラ(煮干し)や昆布、それに幣束を取り付けて完成となるのだが、若い世代の児童たちの飲み込みが速いことにびっくりした。終わりに「今日みんなが作ったしめ縄を家にお正月に帰ったら、お父さんやお母さんに見せてからお正月に飾るように」と話してやったのだが、その場面を撮影したビデオが図らずもテレビのニュースに採用され、12月28日に放送された。地区にとって、思いがけない年末のプレゼントになった。

齋藤忠雄(船越・83)

山田よいとこ好きな町 (21)

(前号より続き)

チャグチャグ馬っこの列は関谷への坂道を下って行く。今はなだらかな坂になり舗装されているが、当時は急坂で雨でも降ればぬかるみ、車馬など泥道に苦労した。やがて泉沢集落へ、ここに昔からこんこんとわく泉があり、水道が引かれるまでは集落の飲用水や雑用水でもあったのだ。泉沢という地名の元であろう。ここにお祭り最初の参拝所である堀合家の馬頭観世音様がある。観音堂は細い山道のある里山の上にあり、急斜面を人馬ともどもに駆け上って狭い境内まで行かなければならないから、なかなか容易でない。しかし、ここが馬方さんの腕の見せどころでもある。急坂に怖気づいた馬はなかなか動こうとはしない。馬喰(馬の売買や仲介をする人)は気合を入れて「ドードー、なんだこの馬あ、オレーあやかってけずかるな(なめているな)」と、大声で一喝。お尻に一鞭打って、一気に馬とともに観音堂の境内まで駆け上ったそうです。そのようにひと汗かいたチャグチャグ馬っこの隊列は、近く遠くでカッコーカッコーと鳴く関古鳥の鳴き声を聞きながら、関谷から初夏の涼風がそよそよと吹き渡る道を関口へと向かっていく。両側田んぼの道を行けば、お田の早苗も青々として、ビッキ(蛙)の鳴き声もここかしこから聞こえてくる。野山の木立ちも新緑の森となって、いと涼しい感じがする。田の水面には馬と人との影が揺れ映り、心は幸せいっぱい。こんな田園風景に浸りながら、どこからともなくベートーベンの田園交響曲でも聞こえてきたとしたら、風物詩そのものになお気分は高まり、至福の夢心地となろう。

やがて豊間根に向かう道の四つ角。今の九分団屯所のあたりで大浦や船越、織笠の礼堂や轟木、白石など南方からやってきたたくさんの馬たちと合流し、馬鈴の音も一段とかまびすしく、身いっぱいをきれいに飾りたてた馬が、全部そろって豊間根への坂道を白山様へと向かう。それはそれは、きらびやかな行列でもあったし、馬も心なしかうれしそうで、首の鈴音に合わせるような足取りでバカバカと行くのだった。(つづく)

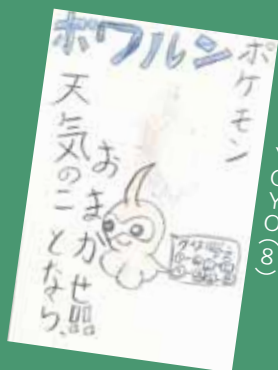
ペンネーム・山田北州(山田・88)



佐々木優真(11)



木下郁美(6)



YOYO(8)

中央公民館を禁煙にしては

昨年11月12月に芸術祭やイベントなどで中央公民館へ行く機会が多かったのですが、気になることがあります。中央公民館の玄関ホールでタバコを吸っている人がいつもいるため、館内中がタバコ臭く、とても不愉快でした。子供やタバコが苦手な人もいます。玄関ホールは禁煙にするよう、検討をお願いします。

ペンネーム・マイルド7(織笠・?)

【回答・町教育委員会事務局】

これまで中央公民館では、玄関ホールとロビーに喫煙所を設け、イベント時に限り全面禁煙としておりました。しかし今回ご指摘がありましたように、タバコの臭いなどが不快であるという意見も多いことから、1月末から終日全面禁煙にすることといたしました。

やまだ文芸広場

世の中の明るさのみを見つめける
我が孫たちに思いは馳せる

大町テイ子(大沢・?)

冬の海荒々しくも波だちて
流水ひとつ浮きつ沈みつ

菊地孝進(船越・87)

金色にかがやく朝日仰ぎつつ
手と手合わせて一日はじまる

菊地サカエ(織笠・73)

集まれば誰かれとなくよく笑う
暇を見つけて仲間が集う

大川ヒメ子(大沢・64)

大正に生まれしわれは米寿かや

菊地閑悟(山田・88)

大不況大丈夫かな俺が町

佐藤兼男(荒川・82)

「なごみ」

なごみにがあっても生きる
ごごゴロンゴロン、いろいろな負担増
み…みんなが平和で平等な社会になり
ますように

佐藤啓子(船越・?)



佐々木友花(7)



田村泉子(12)



◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆あて先 〒028-1392(住所不要) 山田町役場総務課情報管理担当へ。